

令和8年3月

伊東市議会 3月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 河 島 紀 美 恵 君
(3月5日(木) 10時～10時50分)
- 2 鈴 木 絢 子 君
(3月5日(木) 11時～11時50分)
- 3 竹 本 力 哉 君
(3月5日(木) 13時～13時50分)
- 4 杉 本 一 彦 君
(3月5日(木) 14時～14時50分)
- 5 四 宮 和 彦 君
(3月5日(木) 15時～15時50分)
- 6 村 上 祥 平 君
(3月6日(金) 10時～10時50分)
- 7 虫 明 弘 雄 君
(3月6日(金) 11時～11時50分)
- 8 大 竹 圭 君
(3月6日(金) 13時～13時50分)
- 9 篠 原 峰 子 君
(3月6日(金) 14時～14時50分)
- 10 犬 飼 このり 君
(3月6日(金) 15時～15時50分)
- 11 片 桐 基 至 君
(3月10日(火) 10時～10時50分)
- 12 重 岡 秀 子 君
(3月10日(火) 11時～11時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 河 島 紀 美 恵

- 1 自然災害の頻発や激甚化により、猛暑期や厳冬期などの季節を問わず、災害時には多くの方が体育館を避難所として使用することを想定し、教育環境の整備と併せ、国の補助金等を活用して空調設備を導入する自治体が増えていることから、本市における体育館への空調整備の取組状況と今後の方針について伺う。

- 2 子育て支援に関し、以下2点伺う。
 - (1) 本市では、様々な子育て支援団体等が活動されているが、その専門的知識や経験を生かして市が委託等を行っている子育て支援事業の取組状況を伺う。

 - (2) 子育て世代のニーズに合った公園整備の現状及び今後の方針を伺う。

- 3 本市では、高齢者等が地域で自主的に介護予防活動を行う「居場所」の設置を進めてきたが、今後の支援体制と活動に対する支援助成についての考えを伺う。

- 4 市民や観光客の双方の利便性向上につながるインフラ整備等を行うことのできる宿泊税を導入している自治体があることから、宿泊税の導入について本市の見解を伺う。

- 5 本市の空き家及び廃屋等への取組状況と今後の方針を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 絢 子

1 市長所信表明において「子ども・子育て、教育・文化・スポーツ支援」を最も重視している政策に掲げていることから、「子ども・子育て」について、以下4点伺う。

(1) 本市には、子供施策・子育て施策を総合的に推進するための独自の条例や包括的計画が存在していないことから、子供や子育て環境の現状を丁寧に分析し、不足している施策や市民が求めている支援を検証し、さらに子供たち自身の意見を反映させた上で「子ども条例」を制定すべきと考えるが、本市の見解を伺う。

(2) 子供施策は、教育・福祉・保健・まちづくりなど多分野にわたることから、縦割りではなく、横断的に施策を推進できる専門部署の創設や体制強化が必要と考えるが、本市の考えを伺う。

(3) 子供の居場所や遊び場が少ないと感じている市民の声を聞くことから、現在の子供の居場所・遊び場の整備状況をどのように分析しているのか伺う。また、今後どのような取組を検討しているのか伺う。

(4) 市長が公約に掲げた通学費無償化について、具体的な制度設計や実施時期など、どのような考えを持っているのか伺う。

2 市長所信表明の重点政策のうち、「防災・医療・福祉分野などの命を守る政策」について、以下2点伺う。

(1) 体育館等に停電時でも使用することができる空調の整備を今後どのように進める方針か伺う。

(2) 津波避難機能を備え、改札口が付設したJR伊東駅東西自由通路の整備を掲げているが、現在進めている伊東駅前整備計画と連携して取り組んでいく考えがあるか、今後の方針を伺う。

3 小・中学校の統廃合が進み、立地適正化計画における伊東都市拠点の旧市街地から学校がなくなることは、地域活力や人口動態に大きな影響を及ぼすと考えることから、都市計画と教育施設配置の整合性をどのように図っていくのか伺う。

4 相模トラフ地震等で津波が発生した場合、湯川地区、松原地区の多くは津波による浸水が想定されており、当該区域から津波浸水想定区域外へ避難するための指定緊急避難場所の1つが北中学校であることから、北中学校閉校後の防災拠点としての機能をどのように確保するのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 竹 本 力 哉

- 1 本市の移住・定住施策の現状及び今後の取組について、以下7点伺う。
 - (1) 国の地方創生に関わる交付金を、移住・定住施策にどのように活用しているのか伺う。
 - (2) 今年度の主な実績及び成果について伺う。
 - (3) ターゲットをどのように想定しているのか伺う。
 - (4) 本市への移住実績について、エリア、男女、年齢の内訳を伺う。
 - (5) 総務省地域力創造グループが「R8新規・拡充事業のポイントについて」を発表しているが、来年度、これを活用した新たな施策を取り入れる考えはあるか伺う。
 - (6) 教育移住施策で子育て世代の移住を促進している自治体もあるが、この取組について本市の見解を伺う。
 - (7) 移住者同士の交流は活性化されていると思われるが、移住者と地域住民の交流こそ重要であり、交流していくべきであると考えているが、本市の見解を伺う。

2 行政需要に対応する財源を確保するため、別荘税、宿泊税などの法定外税を導入し、または導入を予定する自治体があるが、今後、本市におけるこれら法定外税の導入の可能性について伺う。

3 本市の職員採用について、以下2点伺う。

(1) 本市の職員採用試験方法と、直近の一般職及び専門職の採用状況について伺う。

(2) 社会人採用及び会計年度任用職員の正規職員採用について、本市の見解を伺う。

4 市有財産について、以下3点伺う。

(1) 清掃事務所移転用地として活用予定であった荻地内の市有地について、今後の利活用方針を伺う。

(2) 宇佐美臨海テニス場跡地について、今後の利活用方針を伺う。

(3) 保代口分譲地について、10区画が販売できずに残っているが、どのように考えているのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 伊東国際観光温泉文化都市建設計画により、伊東地区商業地域等における建築物の高さの最高限度が定められているが、市内経済の活性化及び本市の将来に向けたまちづくりの観点から、規制を緩和する考えはないか伺う。
- 2 本市を拠点に活躍し、令和7年2月に亡くなられた世界的な彫刻家・重岡建治氏の功績をたたえ、同氏の作品が多数設置されている「なぎさ公園」の名称を「重岡建治彫刻記念公園（仮称）」等に改称し、または、副題を加える考えはないか伺う。
- 3 本市を代表する観光スポットである城ヶ崎海岸には、半四郎の落し処、磯ぎ久の詩野箱、潮騒の手水処といったユニークな観光トイレが設置されているが、多くの観光客が訪れるため利用頻度が高いにもかかわらず、老朽化が著しい状況にあることから、トイレの更新等について市長はどのように考えているか伺う。
- 4 市民病院における医師、看護師等の人員確保については、これまでも課題として指摘されてきた経緯があるが、新市長の誕生により、課題解決に向けて市民の期待が大きくなっていると思われることから、市民病院の利用病床数と対応の状況及び課題解決の方策について、市長の考えを伺う。
- 5 本市の未来のまちづくりを考える上で、公共施設の更新は不可欠であると考えているが、前市長の下で白紙となった計画もあることから、以下の施設の更新について、スケジュール感も含め市長はどのように考えているか伺う。
 - (1) 図書館
 - (2) 市民体育センター
 - (3) 観光会館（文化ホール）

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

水道インフラに関し、以下2点伺う。

- 1 令和8年2月9日に発生した寒波に伴う断水について、その主たる原因は、各家庭の配管凍結による給水管の損傷に伴う漏水であったとのことだが、市内全域に拡大した断水の状況等について、以下3点伺う。
 - (1) 断水被害は、最大で4,980世帯に及んだとされるが、各家庭の給水管の損傷については、どのように確認を行ったのか伺う。
 - (2) 断水被害の範囲や件数からすると、全庁的な対応や近隣自治体の応援等を含めても、人手不足は否めない状況にあったと思われるが、民間団体や市民との協働の状況について伺う。
 - (3) 市の配水施設については、岡細久保配水池の配管の損傷が確認されているが、その他の配水施設に関して損傷がなかったのか伺う。
- 2 断水は、水道使用量が供給量を上回ることによって起こるとされ、昨年秋以降、一部地域でそのような現象が確認されているとのことだが、使用量の増加原因やその対策について、以下3点伺う。
 - (1) 赤沢望洋台では、令和7年9月下旬から、配水池の濁水が起きているとのことだが、原因は特定できているか伺うとともに、解決の見通しについて伺う。
 - (2) 令和7年12月末に、八幡野の一部地域で断水が発生しており、急激な水道使用量の増加が原因とされているが、使用量の急激な増加理由を特定できているか伺う。
 - (3) 本市の水道事業においては、長年有収率の低さが問題となっているが、インフラの老朽化等により、確認できていない漏水が発生していないか伺うとともに有収率が低い原因について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 村 上 祥 平

1 令和8年度からモデル事業が実施され、令和9年度に本格的な制度開始が予定されている「ふるさと住民登録制度」に関し、以下2点伺う。

(1) 高齢化が進む本市においては、担い手不足や人材不足の課題がある中、若者がUターンをしたくてもできない現状があるが、本制度の活用により関係人口の創出につながるものと考えことから、本制度について、どのように評価しているか伺う。

(2) 他自治体に先駆けて本制度の導入を検討すべきと考えるが、本市の考えを伺う。

2 令和7年3月定例会の一般質問において、専門的な視点から不登校対策を検討する機関の設置を要望したところ、スクールソーシャルワーカーと別室登校相談員との間で情報交換を行い、連携を密にしていく旨の答弁があったが、本市における不登校対策について、どのような組織体制により取組がされているのか、以下2点伺う。

(1) スクールソーシャルワーカーと別室登校相談員との連携状況について伺う。

(2) 組織体制の構築について、どのように考え検討しているか、進捗状況及び今後の見通しを伺う。

3 市内運動施設における利便性の向上に関し、以下4点伺う。

(1) 市内には子供にスポーツを教えている団体が多くあるが、運動施設等の利用料を援助できる施策として、「(仮称)子ども応援割」の導入を検討してはいかがか。

(2) 伊東市民運動場を無料開放する日の設定について、検討してはいかがか。

(3) 市内外の方が参加できるイベントや大会を行える体育館は、市民体育センターに限定されていることから、市民体育センターの空調設備やみんなのトイレの整備について、今後の見通しを伺う。

(4) より多くの市民等が十分に利用できるよう、小室山テニスコートの利用可能時間を午後9時まで延ばすことを検討してはいかがか。

4 近年、消火栓や防火水槽が設置されていない居住地域において火災が続けて発生しているが、消火活動において水利の確保は絶対条件であることから、このような地域の現状把握及び消防水利の拡充について、本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 虫 明 弘 雄

市長所信表明において掲げた重点政策について、以下4点伺う。

- 1 「子ども・子育て、教育・文化・スポーツ支援」に関連し、以下4点伺う。
 - (1) 市内で閉校となった学校の敷地及び建物等を社会体育施設として整備を進めてはどうか。
 - (2) 市営プールの再整備について、公式水泳競技ができる室内型プールを新設してはどうか。
 - (3) 現在の図書館の在り方及び今後の新図書館建設への考え方について伺う。
 - (4) 教育環境を考える上で学校再編の今後の見通しについて伺う。

- 2 「防災・医療・福祉分野などの命を守る政策」に関連し、以下4点伺う。
 - (1) 地域の避難所として指定されている学校体育館等において、空調の整備は喫緊の課題であると考えるが、設置に向けた取組とその時期について伺う。
 - (2) 亀石峠のトンネル化の実現に向けて、本市としてどのように取り組んでいくのか伺う。
 - (3) 地域の消防団や自主防災会がより安全で活動しやすい環境をどのように整備していくのか伺う。
 - (4) 伊東市民病院において、市民が「安心して入院できる環境づくり」に取り組むとのことであるが、市民が安心して受診できる医療環境の整備について本市がどのように関わり、どのような方策を講じていくのか伺う。

3 「強みを生かした産業・経済・観光振興」に関連し、以下4点伺う。

(1) 道路や河川の雑草対策の強化について、どのように取り組んでいくのか伺う。

(2) 観光振興のかじ取り役となるDMO（観光地域づくり法人）が必要であると考えますが、観光振興を図るための担い手について、どのように想定しているのか伺う。

(3) 伊東オレンジビーチの白砂化については、海岸整備の目玉とも考えられるが、この整備をどのように考えているのか伺う。

(4) まちなか回遊環境の整備として、温泉公衆浴場の再整備等を進めるとのことだが、どのような施策を講じるのか伺う。

4 「移動の不安の解消」に関連し、以下2点伺う。

(1) 市内交通事業者のドライバー不足問題の解消が課題であると考えますが、どのような支援や取組を想定しているのか伺う。

(2) 特に高齢の市民は、ITを活用したサービスの利用に対し、障壁を感じていると思うが、公共交通に関してどのような配慮を行っていくのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 大 竹 圭

1 人口減少や高齢化の進行など本市を取り巻く環境が大きく変化する中、的確な現状把握により重点政策を決定し、その根拠を明確にすることが極めて重要であると考えるところから、本市の現状認識、重点分野の整理及び優先順位の判断根拠について、以下3点伺う。

(1) 市長は、現在の本市の状況をどのように認識しているか伺う。

(2) 現在の状況を踏まえ、重点的に取り組む分野をどのように整理しているか伺う。

(3) 優先順位の考え方及び判断根拠を伺う。

2 保育士不足は、保育の質の確保、子供の安全、働きやすい職場環境の実現に直結する重要な課題であり、令和8年度から「こども誰でも通園制度」の開始が予定されていることも踏まえ、保育園の人員体制について、以下3点伺う。

(1) 公立保育園における保育士の充足状況をどのように認識しているか伺う。

(2) 保育士不足を補うため、保育補助者の活用などの取組を行っているか伺う。

(3) 離職した有資格者の復職促進について、本市として検討している施策または取組を伺う。

3 大池小学校通学路の安全対策について、以下2点伺う。

(1) 昨年、当該通学路において交通事故が発生していることから、児童の安全についてどのように考えているか伺う。

(2) 児童の安全確保のため、どのような対策を考えているか伺う。

4 市営住宅の入居に係る連帯保証人について、以下2点伺う。

(1) 現在、本市の市営住宅に入居する際に連帯保証人を求めているか伺う。また、連帯保証人の確保が困難な場合の入居機会への影響について、どのように認識しているか伺う。

(2) 社会環境の変化及び国の方針を踏まえ、連帯保証人要件の見直しを検討する考えはあるか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

1 令和8年2月8日の雪害による水道管の破損及び濁水による断水が市内広範囲で発生し、市民生活に多大な影響を及ぼしたことから、水道事業の対応状況や水利の確保等について、以下3点伺う。

(1) 水道課をはじめとした各関係部局の連携と対応状況及び課題について伺う。

(2) 自力で給水所に行けない高齢者や障がいのある方への対応状況について伺う。

(3) 災害時協力井戸登録制度について、以下2点伺う。

ア 登録一覧表の公開や登録への周知方法を伺う。

イ 静岡市では登録者に奨励金の交付を行っているが、このような取組事例を参考とした拡充施策により登録を増やす考えはないか伺う。

2 在宅介護家族支援金について、以下2点伺う。

(1) 介護度別の支援金受給者数を伺う。

(2) 支給条件として、「要介護認定で、要介護4又は5と認定された市民で、市民税非課税世帯、かつ介護保険料の未納が一年以上ない方」とされているが、この条件を緩和し、要介護認定は3以上、所得要件は設けないようにすべきと考えるが、市長の考えを伺う。

3 終活支援施策について、以下2点伺う。

(1) 想いつむぐノート（人生会議編・エンディング編）の周知及び浸透を図るために、どのような取組をしてきたのか伺う。

(2) 横須賀市が実施するエンディングプラン・サポート事業は、独り暮らしで身寄りがなく、生活にゆとりがない高齢の市民の心配事を解決するため、市と協力葬儀社が連携した支援を行っているものであり、本市においてもこのような取組をすべきと考えるが、市長の見解を伺う。

4 子供の居場所づくりについて、以下2点伺う。

(1) 放課後こども教室の開催の現状について伺うとともに、開催日数を増やすなど、さらに拡充する考えはないか伺う。

(2) 全国の自治体において、中高生の居場所づくりに取り組む事例が増加しており、気軽に立ち寄り自由な時間を過ごすことができるため、不登校生徒の居場所となるなど、子供が安心できる居場所として活用されている事例があることから、本市において取り組む考えはないか伺う。

5 不登校の児童・生徒が増加している現状を踏まえ、全ての子供に対して多様な学びの機会を保障することは、喫緊の課題であることから、学びの多様化学校の設置など、体制整備について具体的に検討を進めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 犬 飼 このり

1 介護環境の整備について、以下2点伺う。

(1) 老老介護世帯の見守りや支援について、どのような取組を行っているか伺う。

(2) 仕事を続けながら介護をしている現役世代について、両立に向けてどのような課題があると認識しているか伺うとともに、家族介護者への支援を拡充していく考えはないか伺う。

2 選挙執行に関わる課題として、選挙公報が届かない世帯があること、バリアフリー化が必要な投票所があることなど、様々な課題があると認識しているが、どのような改善策を講じているのか伺う。

3 パートナーシップ制度の導入について、市長の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 片 桐 基 至

1 商店街の活性化について、以下4点伺う。

(1) 市の認識として、中心市街地の活性化を図るために商店街をどのように位置づけているか伺う。

(2) 商店街の現状として、店舗総数、営業中の店舗数、空き店舗数、営業可能な店舗数、賃貸可能な店舗数を把握しているか伺う。

(3) 商店街の活性化とは、どのような数値や状態等を目標として設定し取り組むのか伺う。

(4) 商店街に居住する住民の生活の向上と、市街地のにぎわい創出や観光業の活性化を結びつけるには、どのような施策が必要と考えているか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 居住者が増えつつある別荘分譲地等の自治会が15行政区に所属しておらず、また、町内会に加入しない市民も増えていることから、住民自治を発展させ、官民一体となったまちづくりを進めるためにも、住民組織の見直しは重要課題であると考え、以下2点伺う。

(1) 新たな住民組織を編成する必要があると考え、まず現状把握をして問題点や課題の洗い出しをするとともに、他自治体の事例等も研究し、本市に適した組織づくりを検討すべきと考えるが、いかがか伺う。

(2) 当面の間、行政連絡調整協議会の委員ではない別荘分譲地の自治会代表者が、行政連絡調整協議会に参加する試みも必要と考えるが、いかがか伺う。

2 補聴器の購入に対する補助について、市民団体などから要望書も提出され、関係部署との意見交換も進められてきた経緯があるが、本市での導入について、どのような対応がされてきたのか伺うとともに、今後の見通しについて伺う。